

伊藤大使による地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム

(SATREPS) 発足式への参加

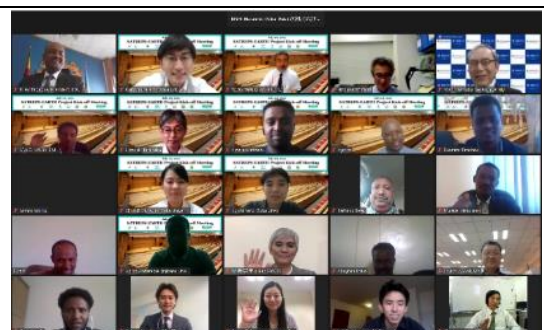
2021年7月1日、伊藤大使は、日本による地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム (SATREPS) 「ナイルの源流エチオピア・タナ湖で過剰繁茂する水草バイオマスの管理手法と有効利用プロセスの確立」のオンライン発足式に参加しました。

同発足式には、同プロジェクトリーダーである佐藤伸二郎創価大学教授をはじめ、アフエワク科学・高等教育国務大臣、馬場創価大学学長、フィレウ・バハルダール大学学長ら同プロジェクトを実施する大学関係者らが出席しました。

伊藤大使からは、同支援を通じて、エコシステムの確立によるタナ湖の浄化及び栄養改善への貢献、またSDGs達成へも寄与することを期待する言葉が述べられました。



伊藤大使挨拶の様子



参加者との集合写真